



2025年初日の出 1月1日撮影

柏床よしおの



よっしー通信

2025年1月 17号

発行 柏床由夫後援会

神石高原町油木乙23番地2 Tel.(0847-82-2022)

<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>

Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp



【12月定例会】

12月定例会は、選挙後の初議会で、12月6日から20日まで開かれ、正副議長、各常任委員会の構成、組合会議員の選出、監査委員、副町長選任の人事案件のほか、町長所信表明と、一般会計ほか3特別会計と病院事業会計・農業集落排水事業会計の補正予算や、条例改正など19議案が原案どおり可決。一般質問は9人の議員が行いました。

一般会計補正額 1億6848万円

非常備消防管理経費

生活交通機関確保事業

道路橋りょう災害復旧事業など

2024年度(令和6年

度)一般会計補正予算の主な事業は次のとおりです。

●非常備消防一般管理経費
消防団員の退職報奨金など。3385万円

●生活交通機関確保事業
タクシー初乗り料金改定などによる予算の補正
460万円

●地方創生応援税制寄付金事業(企業版ふるさと納税)
福山シティFCへの交付金 4000万円

●道路橋りょう災害復旧事業
令和6年発生公共土木施設災害の復旧工事

1144万円

●小学校体育館等管理経費
油木小学校・来見小学校体育館の修繕費

306万円
増 1726万円

●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
新型コロナウイルスワクチン接種事業国庫補助清算金(返還金) 1292万円

●ため池整備事業
神石地区・俵原池改修工事 650万円

●小規模崩壊地復旧事業
溪間工の地区追加 829万円 など。

人事関係議案

●選任の同意

副町長 瀬尾 浩康
監査委員 木野山孝志

柏床 由夫

●任命の同意

教育委員会委員 本多 博志

高石 元子

●選挙管理委員会委員

小坂 依文 米山 文子
川上 晃生 加古川裕一

●選挙管理委員会補充員

岡崎 謙 赤木まゆみ
小寺達司 若林 仁

条例の制定

新たに「政策審議監」の職を設置する条例が制定され、1月1日付で前副町長の森重純也氏が就任されました。

新しい年を迎えて

皆様、穏やかな新春を迎えられたことと思います。昨年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生、2日には羽田空港で民間航空機と自衛隊機の衝突事故がありました。また、昨年の消費者物価指数は+2.3%と予測されていますが、食品などは多数の品目が値上げとなり、物価上昇の年となりました。

本年は巳年。巳年は、力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年と言われています。他にも巳(み)と実(み)を掛けて「実を結ぶ」年と言われたりもします。

皆様の、期待に応えられる様、また、「実を結ぶ」よう議員活動を取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願いします。

2025年1月 柏床 由夫





柏床議員の一般質問

町長所信表明

問 農業者・農業経営団体への支援は。

答 新年度、収入保険の掛金助成を予定。

頑張る町民の皆さんを応援するまちづくり

柏床Ⅱ農林商工業施策について具体的な構想は。

町長Ⅱ農林業の大きな課題は、後継者の育成です。

どの市町も抱えている課題であり、現在のところ抜本的な解決策は見いだせていない。

農業は、引き続き県主催の農業フェアへの参加や県立農業技術大学校へのPR活動の実施、インスタグラムやエックス等の町公式SNS等を通して補助事業などの広報を行い、後継者確保へと繋げたい。

林業は、今年度から行っている、林業機械の補助制度、安全に作業をしていたり、安全のための装備の購入補助を行い、林業後継者の育成へと繋げていきたい。

商工業は、町商工会と情報や課題を共有し、またそれぞれの役割分担を明確にした上で、事業承継や小規模商店の売り上げ増に繋がる取り組みを進めて行く。定住アドバイザー制度を検討し、移住と事業承継を同時に解決できるような取り組みを進めていきたいと考えている。

それぞれの具体策については、関係機関と十分に協議しながら進める。

柏床Ⅱ広報やPR活動だけでは就農はしてくれない。

トマト生産の場合に年間の大まかな経済収支を示さないと興味はわかないし、町に来て就農する意欲もわかないのでは。

今後の対応方針は。産業課長Ⅱ試算は行っている。新たに農地を求めてトマトでの就農をする場合、ハウスなどの初期投資の資金が必要になる。現状では、物価高騰により初期投資に高額な資金が必要な状況で、経営指標が示せない。現在、トマトの生育動画も配信しているが視聴回数は少ない。視聴者に関心を持ってもらいたい。

柏床Ⅱ本町へ来ていきなりの就農は難しい、以前から提案している半農半Xの普及も考えるべきでは。産業課長Ⅱ半農半Xも考えられる。

また、町内の14集落法人には頑張ってもらっているが、後継者問題もかかえている。法人の連合体を作りお互いに支援しあう仕組みづくりも必要になってくる

のではと考える。

【半農半Xとは】

半分農業で食べていくための自給自足の生活を送りながら、もう半分で自分の好きなことややりたいこと、やりがいのある仕事をする生き方

柏床Ⅱここ数年の異常気象などで、農業収入が不安定になっている。

経営安定に向けた収入保険の掛金補助の考えは。産業課長Ⅱ農家から要望を多く聞いているので、新年度、取り組む予定である。

柏床Ⅱ畜産農家も経営状況は厳しい。畜産農家から決算の5年間の聞き取りをしたが、牛肉の消費離れも進み大変な状況にある。また、牛1頭1日当りの餌代は、6年前と昨年の比較をすると1・85倍になっている。

県は、12月補正で、配合飼料価格高騰緊急対策事業（国庫）を予算化した。しかし、この補助を受けるに

は、畜産農家は基金制度に加入が必要である。10頭以下の畜産農家の加入は少ないのでは。支援の考えは。

※（資料、三次家畜市場の子牛価格も令和元年10月子牛去勢、2520円/Kg、令和6年9月子牛去勢1769円/Kgと低迷している。）

町長Ⅱ県の支援のほか、畜産協会があるので連携し、どのような支援が出来るか考えたい。



厳しい経営が続く畜産農家

人規模の抑制を図るとい
新たな人口目標を設定し、
各施策に取り組みたいと考
えている。

「神石高原町人と自然が輝
くまちづくり条例」の第1
2条3項では、「町の職員は、
協働・補完のまちづくりが
効果的に行えるよう、住民
の活動を積極的に支援す
る。」と明記されています。
協働支援センターの設置・
体制づくりから、9年が経
過した。

当時危惧したとおり、人
口はほぼ推計どおり減少し、
地域産業の停滞、コミュニ
ティ組織の崩壊、空き家や
耕作放棄地などが、より一
層増えるのではないかと、な
どの不安が現実味を帯びて
きている。多くの住民が「協
働のまちづくり」に参画し、
自分たちの地域の特性や、
誇れるものを理解し、あり
たい将来像を話し合う機会
を創出する、これが協働支
援センター設立の理念でも
あり、期待する大きな役割
の一つである。

また、町職員全員が「縮
充」の視点をもつことは重
要である。

『縮小社会にどう全体を適
合させていくのか』を町全
体で考える時期にきている。
人口規模が縮小しても、必
要な行政サービスが維持で
きるよう、生産性の向上の
ためのDXや新技術なども
活用しながら、住民の満足
度の維持・向上に努めてい
く必要がある。

町議会の動き

昨年、町議会議員一般選
挙が執行され10人の議員
が決まり、12月6日の初議
会で次のように議会体制が
決まりました。

【議長】	橋本 輝久
【議長】	寄定 秀幸
【議会運営委員会】	
委員長	久保田龍泉
副委員長	柏床 由夫
委員	横尾 正文
委員	山本 喜久
委員	上原 伸一

【総務文教常任委員会】

委員長	小川 善久
副委員長	林 憲志
委員	橋本 輝久
委員	柏床 由夫
委員	藤井 潤子

【産業建設委員会】

委員長	横尾 正文
副委員長	久保田龍泉
委員	寄定 秀幸
委員	山本 喜久
委員	上原 伸一

【議会広報委員会】

委員長	小川 善久
副委員長	柏床 由夫
委員	林 憲志
委員	藤井 潤子
委員	上原 伸一

【監査委員】

議会選出	柏床 由夫
------	-------

【福山地区消防組合議会】

選出議員	小川 善久
------	-------

【広島県後期高齢者

選出議員	久保田龍泉
------	-------

【広島県水道広域連合

選出議員	寄定 秀幸
------	-------

地域の話題

細田営農組合年末餅つき

細田営農組合では、昨年
12月30日に恒例の餅つき
を行いました。

6世帯10人で、14日の餅
つきました。特に豆餅はそ
れぞれの家庭の味があつて、
黒豆、ピーナツや砂糖・塩
など調合は様々。高齢化が
進む集落にとって家庭の味
が何とか守られています。
今年も、地元の出身の親
子2人の助っ人が参加して
くれました。



可愛い助っ人参上

12月議会を終えて

2020年11月に初
当選し、あっとい間の
4年間、再び皆様の大き
な支援をいただき2期
目を務めることとなり
ました。

12月6日の初議会で
は、新たに3人の新しい
議員を迎え議会体制を
決定しました。

また、新たに議会選出
の町監査委員に選出し
ただき向こう4年間担
う事となりました。

今議会の一般質問で
は町長所信表明につい
て質問しました。所信表
明は町長の向こう4年
間の羅針盤とも言えま
す。町政、町民の生活を
どのように導こうとし
ているのかを質しまし
ました。3月議会では、町長
の施政方針、1年間の行
政の方針が示されます。
皆様も気にして聞いて
みてください。(由夫)